



大阪歯科大学

兵庫県同窓会報

'89春

45

も く じ

団結と躍進を掲げて……………村井会長… 1

役 員 会…………… 2

第34回会員大会…………… 4

分会支部だより…………… 7

クラス幹事だより……………10



## 団結と躍進を掲げて

大阪歯科大学  
兵庫県同窓会長

村井俊郎

昨秋11月に京都で団結と躍進をスローガンとして開催された大阪歯科大学同窓会全国会員大会は2,500名もの同窓が参加してまことに盛大に行われた。

あの雰囲気は同窓ならではの、親密さと強いきずなに結ばれ、たくましく盛り上がった演出でもあった。

当日ご出席下さったご来賓の方々も一樣に大阪歯科大学の歴史の重みと全国同窓の結束ぶりに感銘を受けたと述べておられた。

また同窓会会則の改正に関して、母校の発展をたすけ、会員の福祉と相互の親睦をはかるとともに歯科界の発展に寄与するという文言が追加されることになったが、全国6万の歯科医師の中で大阪歯科大学同窓が1万有余ということ

は、わが国歯科界での責任はきわめて大きいといえる。

更に平成3年10月には第17回日本歯科医学会総会が大阪 ロイヤル ホテル を中心として開催され、その主管校が大阪歯科大学と決定している。全国から数千名を超える歯科医師が参加するこの大会が久方ぶりに大阪で開催されるわけである。

大阪歯科大学の名誉と伝統が問われる機会でもある。

兵庫県同窓会としても同窓会本部と協力してこれらすべての課題に対して積極的な支援を行わなければならないと考えられる。

同窓諸兄姉の一層の団結と躍進を心からお祈りして止みません。

# 大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会

昭和63年度第2回役員会、分会長、支部長会

63年9月13日



挨拶する村井会長

昭和63年度第2回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会、分会長、支部長会は、昭和63年9月13日（火）午後7時から兵歯会館会議室で開催され、諸報告のあと第34回会員大会について協議した。

会は志築専務理事の司会により松本副会長が「会員大会は勿論のこと大歯同窓会発展のためのご意見をいただきたい」と開会のことばを述べた後、議長に長濱副会長を選出、議事録署名人に赤井（西播）、藍（尼崎）の両氏を指名して村井会長からつぎのような挨拶があった。

## 〔村井会長挨拶要旨〕

長い間ご苦労になった奥野半蔵会長に代わって奥野喜一氏が会長になられたが、奥野執行部の方針としてはこの1万名をこす同窓会を活性化して行きたいとのことで、その手段として、常務理事の若返りを計るということで役員人事については新会長より若い人、即ち、専門22回以後卒業の方でやって行くということであるが、組織部と渉外部は別である。

11月13日の全国大会には29の歯科大学の役員の方が来られるわけで大阪歯科大学の団結を皆

様に見ていただくよい機会であるので、ぜひたくさん参加いただきたい。

## 5) 報告

### 1) 会務報告 志築専務

玉川義男（中央区）先生はじめ5名の物故会員が報告され弔意黙祷を行った。

その他44号の会報を発行した。今年度中に45号を分会、支部を特集して出したい。

### 2) 会計報告、河合常任理事

### 3) 本部報告、志築専務理事

学長が森学長より稗田新学長に代られたので挨拶にうかがった。

5月14日に常務会が開催され奥野新会長より抱負表明があり、同窓会の組織の活性化を計りたいとのことであった。

## 6) 協議

### 1) 第34回会員大会

岡田神戸分会会長から「申し込みを見せていただいたが、今の時期でこれだけ集まったことはこれまでないことである。最低600名にはなると思っている。来賓と合わせて700名位になるのではないかと。先生方のご協力で

ぜひ 600 名集めていただきたいと思っている」との協力依頼があった。

その後、一ノ瀬常任理事より当日のスケジュールの発表があった後、伊藤副会長の閉会のことばで終了した。



報告する岡田分会長

## 昭和63年度第1回〔臨時〕役員会、分会長・支部長会、クラス幹事会

昭和63年11月4日

昭和63年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会〔臨時〕役員会、分会長、支部長会、クラス幹事会は、昭和63年11月4日（金）午後7時から兵衛会館2階会議室で開催された。

会議は志築専務の司会により伊藤副会長から「京都で開催される全国大会に関して最後の協議をいただくわけであるが、この大会は奥野喜一新会長就任後はじめての大切な大会であるので十分協議していただきたい」と開会のことばがあり、松本副会長を議長に選出し、司会者一任により議事録署名人に内海（中央区）南木（兵庫区）両常任理事を指名して村井会長の挨拶にうつった。

### 〔村井会長挨拶要旨〕

大変忙しい、診療にさしつかえるウィークデーの会合で申し訳なく思っている。

先日の兵庫県の会員大会は本当に最近では最も多くの会員が集まれた大会で感謝している。全体で約700名の方が集まれた。大変な盛会に来賓の方々も感心されていたようであった。

11月13日に京都の都ホテルで第10回全国同窓会会員大会が開催される。この大会は奥野喜一氏が会長に就任されて最初の大会であり、学長も稗田学長になられて最初の大会である。

兵庫県が神戸ポートピアホテルで、全国大会

をお世話した時も京都から沢山の同窓の方々に来ていただいたので、今度も兵庫県からたくさん参加しなければと思っている。出来る限りたくさんの方々に参加していただきたいと思っている。

### 〔報告〕

本部報告 志築専務

10月18日常務理事打ち合わせ会が、京都都ホテルであり、第10回会員大会について打ち合わせを行った。

### 〔協議〕

#### 1) 会員大会について

志築専務 兵庫県には400名程度の出席方要請があった。兵庫県が当番の時は、京都から200名程度来られた。現在兵庫県では86名の出席ということで申し訳なく思っている。もう少し出席者を増やさねばと思っている。その後お願いして少し増加して128名になっているということである。

井上クラス幹事 クラス幹事を通じてお願いしていただければ、まだ参加者がふえるのではないか。

#### 2) その他

予告であるが学術講演会は64年2月18日（土）に開催する予定である、との報告があった後、松本副会長の閉会の辞で終了した。

# 第34回会員大会

昭和63年10月15日

於 新神戸オリエンタルホテル



主催側の役員席



大会セレモニーで挨拶する村井会長



↑村井会長より記念品を受ける新卒代表



会場をぎっしり埋めた盛況ぶり



文化講演会で  
講演する三浦 保氏



↑森本部副会長の音頭で「乾杯」

→  
あの日、あの時……語りつきない談笑の輪



↑ラッキーカードでテレビを当てた  
喜びの先生



**新築の新神戸オリエンタルホテルに  
700名が集う。**

第34回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会、新入新卒歓迎会は、昭和63年10月15日（土）新築オープンしたばかりの新神戸オリエンタルホテルの大宴会場、真珠の間（10F）に700余名が参加して盛大に開催された。

毎年この会員大会は、7月に開催されていたが、今年はぜひ神戸に新しくオープンするホテルを会場にという当番の神戸分会の企画で、時期をホテルのオープンに合わせて開催された。

会は志築専務理事の司会により松本副会長が開会のことばを述べた後、村井会長が、「我が母校、大阪歯科大学は1万名の会員を有しているが、兵庫県においても1,500名の同窓が健在である。兵庫県同窓会は同窓会本部と緊密な連絡を保ち母校の発展を助け、会員の福祉と相互の親睦を計ると共に歯科医学の研修に努める目的をもって今日迄活動を行って来た。

現在歯科界は高齢化社会の歩みの中で極めてきびしい環境にあります。しかし、私達は歯科

医として価値ある尊い職業を目指して母校で得た技術と知識を社会のために役立てなければならぬ精神は後退することはない。あと10年で21世紀を迎える今日、私達は力を合わせて多くの困難を克服して行かねばならない。」と挨拶を述べた。つづいて来賓としてご出席の奥野喜一同窓会長、稗田豊治学長らから祝辞があった。

つづいて新入会員、新卒業生の紹介にうつり志水常任理事により、23名の新しく会員になれる方々が紹介され盛大な拍手をあげた。

来年度は丹波・但馬分会の当番ということで瀧野先生のあいさつの後、全員で声高らかに学歌斉唱して式典を終了した。

文化講演会は、神戸新聞コミュニティー交流センター専務理事の、三浦保氏による「21世紀を目指して円高時代の遊生人」と題するユニークな講演があり時間の過ぎるのを忘れる程の楽しい文化講演会であった。

懇親会は午後5時より広い真珠の間も溢れんばかりの参加者で、同級生同志のテーブル配置が好評で楽しい懇親の輪を拡げた。

**来 賓 御 芳 名**（順不同）

**（大学関係）**

大歯大 理事長 北川 正夫  
大歯大 学長 稗田 豊治  
明海大 学長 多和 敏一

**（本部関係）**

会 長 奥野 喜一  
副 会 長 森 宏  
〃 森本 太郎  
〃 野添 静里  
〃 松本 博  
〃 村上 勝

**専務理事 新田 孟  
監 事 津島 大麓**

**（兵庫県関係）**

兵庫県同窓会長 奥野 半蔵

**（近府県関係）**

大阪府同窓副会長 成瀬 悟  
京都府同窓会長 野添 静里  
奈良県同窓会長 平井 康允  
滋賀県同窓会長 井田 勝造  
和歌山県同窓会長 久保 昌弘  
岡山県同窓会長 森本 太郎

**（日歯関係）**

常務理事 大浦 波夫  
日歯政連 磯島吉之祐

**（県下各同窓会・校友会関係）**

東京歯科大会長 林 幹雄  
日本歯科大会長 池端 邦夫  
日本大学歯学部学部長 後藤 昭  
東京医科歯科大会長 山口 唯夫

**九州歯科大副会長**

合原 邦夫  
遠藤 裕  
砂川 一夫  
井筒 豊久  
佐多 進  
中岡 要  
謝花 幹樹  
宮内満喜雄  
加子大二郎  
堀 久世  
柏木 信子

**（公務関係）**

兵庫県民生部保険課指導医療官 笠原 義人  
兵庫県民生部国保課指導監査専門医 今上 康夫  
兵庫県保健環境部健康課技術史員 梅木 邦彦





### 神戸分会東灘支部

東灘区歯科医師会の会員数は昭和63年12月末現在で106名、その中で69名が大阪歯科大学の同窓会員であり、「本支部会は神戸分会と緊密な連絡を保ち会員相互の親睦を図ると同時に、大阪歯科大学兵庫県同窓会運営に協力し、かつ歯学の研修につとめることを目的」として、毎年開催される兵庫県同窓会々員大会の1～2カ月前に、年1回の総会と懇親会を兵庫県同窓会、神戸分会並びに東灘歯の他校の同窓会の代表をお招きして開催致しております。

兵庫県同窓会の益々の発展のためにも、クラス幹事会を設けられたことは大学創立80周年に向かった「団結と躍進」の旗印であり、当支部も「まとまりの良い支部会」の構築には会員のより一層のご協力を期待する次第でございます。

なお当支部より兵庫県同窓会の役員として6名、クラス会幹事として5名の先生方が選出されております。

(東灘支部長 三坂明美)

### 神戸分会西支部

西支部は垂水区・明石市の北に位置し、谷と丘陵からなる神戸市の4分の1を占める田園地域で、昭和58年4月に垂水区より分区した。

誕生6年の若い支部です。発足時8名(会員15名)、現在15名(会員35名)と少人数で、同窓としての特別な会合は持っていませんが、西区歯科医師会の会合や旅行が同窓会のようなもので、その絆は強いものと思っています。昨年夏、中村敬先生が逝去され発足以来初めての悲しい出来事で、同窓生及び会員のショックはひとしおでした。

また、新年には天皇が崩御され、昭和1桁の私には感慨深いものがありました。

新天皇が即位されて新しい「平成」の幕明けのもとに、若い西支部は平和で建設的な開かれた同窓会でありたいと願っています。

(西支部長 宮本弘義)

### 神戸分会三田支部

当地はただ今、北摂三田ニュータウンの造成中で月毎に人口が増加して活気を呈し、開業希望者もそれにつれて増加して来ました。旧有馬歯科医師会として14名の会員でやって来ましたが、S33年に北区の新設と共に5人が北区に移動したため9人に激減して淋しい会となりました。14名中大歯出身者は11名、その全員が三田学園出身で同校の同窓会と言ってもよい程でした。

今日ではニュータウンのお陰で会員も20名になり、なお本年の開業予定者は4名おります。会員増加と共に大歯卒者が沢山になればどんなにか気強く思うが、忘れませんが残念ながらただ今は9人だけとなりました。開業、入会者が大歯卒とあれば喜ばしい感情が走ります。しかし、会員全体として余り卒業別にこだわることなく、皆仲よく親密にやってくれています。将来は会員が当地の人々が15万人となりますので50名程度になると推察しています。一人でも多くの大歯卒者が入会してくれることを念じています。外国人から日本人を見れば誰か一人が号令をかければ、皆それに右へ習えして行く不思議な国民と見られています。

過去の同窓会もそれに似てましたが、ただ今は核家族が普及すると同時に、余り同窓愛を發揮するような場面に出逢いません。毎年開催される会員大会への参加も年毎に少なくなってくるようです。企画がマッチしないかマンネリ化している故かも知れません。しかし、肝心の時には同窓愛を發揮してくれると思い、今後とも団結して相互の融和と親睦を図って行きたいと思っています。

(三田支部長 北川重信)

## 尼崎分会

平成元年。心を新たに兵庫県同窓会の組織の一員として、輝かしい第一歩を踏み縮めたいと思います。

現在会員数は165名で、会則の第2条に「県同窓会と緊密なる連絡を保ち、母校の発展、歯科医学の向上並びに会員相互の親睦協力を図るを目的とする」と定めています。その目的達成のために総務部、庶務部、会計部、学術部、福祉共済部、厚生部、渉外部の7部を設けています。役員には会長、副会長、専務、部長、支部長、監事を置いております。

また、名誉会員として大歯同窓会名誉会長奥野半蔵先生・明海大学名誉学長柳生嘉雄先生・明海大学学長多和敏一先生・尼崎市歯科医師会会長・松本清先生を推戴して、年一回の総会、時に臨んで役員会、部長会を開いて、学術研修会、レクリエーションを実施しております。

会員の福祉共済のために共済拠出金規定を設けて2,000円に会員数を乗じた額を弔慰金としてお供えし、傷病、災害にもお見舞金をおくりします。

今後も会員相互の親睦を図ることを第一と考えるとともに、他大学同窓会、校友会との和を広げ、地元の尼崎市歯科医師会の発展の一助になるよう努力していきます。

(尼崎分会会長 志築照和)

## 播磨分会

播磨分会の名称は播磨の国から名付けたと思われませんが、包含される地域が昔の播磨の国そのものか、それより広範囲なのか私は寡聞にして、それを知りませんが地図を展げますと、その広さに吃驚します。兵庫県の大体 $\frac{1}{3}$ の広さです。その地域に住む同窓生約300名、年間予算約150万円前後で運営をしていますが、姫路分会と事業を協同に行っていますので大変恵まれています。私の若い頃定時総会は高砂、龍野、赤穂、姫路などと年度毎に変わっていましたが今は姫路市に定着しました。交通の便、集合のし易さ、時間の都合、近代人の感覚が自然にそうさせたと思います。行事は定時総会、新年会、学術講演会、ゴルフコンペと一年に3回ぐらい集まって楽しく「オッー久し振り」と青春時代の気分に入っています。どの会合にも60名から100名迄の参加を得られますが忙しい時に暇を作られ、1名でも多くの先生方の参加を願っています。

最近のゴルフコンペの様子をお知らせしまして筆をおきたいと思います。昭和63年11月3日参加人員36名コース山陽カントリークラブ(加西)。ゲスト南木常任理事、優勝神戸操先生。2位村上泰人先生、3位窪田弘之先生ベストクロス77、村上泰人先生。

毎年いろいろなカントリークラブで行っています。

(播磨分会会長 赤井 崇郎)

## 播磨分会三木・美囊支部

新春を迎え、諸先生方ますますご健勝のことと存じ上げます。さて、三木市美囊郡歯科医師会35名中、大阪歯科大学同窓会の会員は15名に達しております。大正7年生まれの島谷元久先生を筆頭に、平均年齢46歳という若い集まりです。

現在のところ、年齢的に中間に位置しております40代の会員が、各世代の先生方との意志の

疎通を計るべく、いろいろと努力している状況です。しかし、同窓会としましては、特に活動はしておりません。ただ支部の講習会、ゴルフなど機会あるごとに、積極的に参加し親睦を深めております。

今後、三木市美囊郡も会員の増加が予想されますが、同窓会はもとより、各大学出身の先生方とも協力し合って、よりよい歯科医師会の発展のため、尽力したいと思っております。

(三木・美囊支部長 原 公章)

### 播磨分会西播・佐用支部

播磨分会は九つの支部よりなり、西播佐用支部は、その内の一支部で27名の会員よりなっている。毎年行われる兵庫県大歯同窓会には大多数の出席を行い、また、分会の行うすべての行事に全面的に協力している。厳しい歯科界の情況下に大歯同窓の誇りを失うことなく歯科界のために尽し、分会開催の学術講演会において近代医療の知識の修得に務め、また、ゴルフ大会開催により会員間の親睦の輪を広げ、同窓会員お互いの団結に努力していることを申し述べて、甚だ簡単ながら支部報告にかえたいと思う。

(播磨分会西播佐用支部長 亀井尊嗣)

### 淡路分会

この度、同窓会員相互の親睦、融和を図る趣旨で会報の充実、活性化の報に接し、心から賛同する次第です。当分会は洲本支部16名、津名支部10名、三原支部13名で計39名。昨年久しく開かれていなかった分会としての懇親会を開催し、お互いの自己紹介から始まり大いに語り合い、談じあい、飲を尽し次会を楽しみに幕をとじた。せまい島内でも若い会員の顔も分らない、名前も知らない会員があって親睦の意味か

らも、少なくとも毎年一回はこのような集いの必要性を痛感した。歯科界において学閥を問題にする時代でないことは当然のことであるが、同じ学窓に日を送り、同じ環境に育ぐまれた者同志が新しい問題に力を合わせて前進することは極めて自然なことである。それによって同窓会が立派になり、学校の発展の源になると思えば今後同窓会、校友会の会合には何をにおいても出席しなければならぬことを強調したい。

「人は人によって人となる」これはカントのいった言葉であるが74歳の人生をかえり見て、人の出会いの大切さ、有難さが身に浸みる。

歯科医専時代めぐりあった多くの人々から教えをうけ、励まし助力を受けたが、これは最高の天授の出会いと思う。若干の自分の努力や運はあったが、今日の恵まれた余世が送れることを常に感謝している。

(淡路分会長 竹谷三省)

### 淡路分会三原支部

激動の昭和年代が終わりをつげ、新元号が平成に変わりました。私達三原支部会員数は現在13名であります。三原郡全会員数の約四割六分をしめています。大歯支部としての活動は特別にしておりませんが、全会員の融和と親睦を常に心がけ会運営の主体をなし、各分野に活躍しています。しかし、私達の周辺には幾多の困難がまちらうけているように思います。保険点数、歯科医師増、税金問題など数えればきりがなくらいあると思います。今こそわれわれ大歯会員が一致団結して、種々の問題を一つ一つ確実に解決し未来に向かって進んでいくよう努力しないといけないと思います。

どうか私達三原支部の会員に、なお一層のご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

平成元年1月8日

(三原支部長 糸田英俊)



## クラス幹事 だより

### 専9回

昭和4年4月に卒業して早や60年、124名が今は33人が何とか生き残っています。兵庫県は当時16人でしたが、今は昨年11月あの元気を誇っていた前田次郎君が急死したので現在は一つ町君、中江君と私、後藤だけの3人と、まことにさびしくなっていました。専門9回のクラス会も昨年開いた席で投票の結果多数決で中止することになりました。残念ですが85歳前後の高齢者だし何が起こるかわからない等の理由からです。

(後藤憲次郎)

### 専18回 人生を堂々と見つめよう

昨年11月8日、東灘区の野田一郎君が他界された訃報に接し愕然とした。生前、野田君は人と接するに常に笑みを以て迎え、われわれの陰の力となって良く世話を惜しまず、本当に温厚な友だった。晩年は不運にも眼疾で失明、廃業を余儀なくされ、孤独の中で耐え難い日々であったに違いない。お見舞いも遂に果たし得ず誠に申し訳けなく哀惜痛恨の極み、謹んでご冥福をお祈りしたい。また、さきに厚生大臣表彰受賞の明石市の脇屋直行君が、病気で廃業され趣味の謡曲とも縁を断ち、自宅で目下療養に専念中だ。一日も早いご全快を祈らずにはおれない。

慶事としては、歯科界最前線での大浦波夫君の大活躍と、芦屋市の溝井三代次君が竹谷三省君に続いての栄ある勲五等双光旭日章受章の吉報だ。昨年11月27日、神戸ポートピアホテル

で、村井兵衛会長が発起人代表となり叙勲を記念する会が華やかに催され、300有余名の各界代表者に祝福された。長年のあらゆる要職を通じ貢献された実績に、改めて讃辞を贈り名誉と喜びを共に頒ち合いたい。当日帰路車中で、神崎郡の大塚正幸君と久方振りに一緒になった。全国クラス会には欠かさず参加している由、明るく穏やかな表情は全く昔と変わりなく敬仰心に浸る。

長寿時代に如何に強がりと言おうと、負け惜しみを言おうと、お互いが思いやりの心で友情を温めつつ、自らの人生観を堅持して、自分に与えられ授けられた生命を大切に、積極的に健康で張りのある毎日を過ごしたいものだ。

(湊 信一)

### 専21回

専21回天作会の63年度クラス会は去る10月22日、福岡県在住の樋口俊治君のお世話で福岡で開催された。現在会員93名の中30名とご家族11名の41名が出席、会場は博多駅前の都ホテルで開催された。午後5時集合というのに、早々と2時頃から到着した人達(奈良の森田君、堀内君、上田君など)が、唯一人で頑張っている樋口君を助けて、自発的に受付をやってくれていた。樋口君夫妻はゴルフ組を案内してゴルフ場の方へ行っていた。

天作会は昭和23年に高野山で第1回クラス会を開催して以来、今年が39回目に当たるが九州で開催するのは初めてである。6時開会、地元樋口君の司会で、物故者に対する黙とうの後、学

内報告、会計報告、次期開催地協議などが行われ、記念撮影の後パーティーに入った。気兼ねなく話せる仲間同志で、話は尽きないが、8時頃閉会され元気な連中は中州へと繰り出した。

翌23日は観光バスで市内見物。9:00ホテル前出発。櫛田神社—東公園—箱崎宮—都府楼跡—太宰府天満宮—博多織工場などを見学して、福岡空港及び博多駅でまた、来年の再会を約して解散した。来年は岐阜県当番で、岐阜、愛知辺りで開催される予定です。岐阜県亀谷君がお世話して下さいそうです。

今回の出席者、ご家族同伴は愛敬、北井、黒坂、武内、荒木、安村、松井宣和、堀内、樋口、浜口隆三、単独は稲垣、板谷、上田、江見、大島、尾持、岡、大塚立人、小寺、岡田、竜谷、近藤、竹田、辻、中村長弘、野草、林、三村、村上、森田の諸君でした。

昭和63年12月11日

(小寺 長蔵)

### 専23回 昭和激動の歯学生

1月7日、天皇陛下の崩御が伝えられるや一両日中、テレビなどマスコミは昭和の御代の回顧を総決算集約し、視聴者の耳目頭脳を集中捕捉して回想モードに浸漬した。私達もこの御代の大きな動きと一緒に燃焼させた青春時代のひと駒つつを振り返り、これを歴史の年表としてわが記憶にオーバーラップさせながら静かに半世紀余りの足跡を見つめ直す機会とさせて頂く。

われわれ専23回は昭和14年春に大歯専入学。その入試直前の3月初めのある午後、突然ズンと腹の底に響く轟音と木造家屋の軋み、爾後連続夜半にまでつづいて爆震音は止まらない。これは枚方の陸軍工廠(通称禁野)の火薬庫の火災爆発事故で、白堊の学塔の牧野の学舎附近にも砲弾が落下し、校舎のガラスも爆風で飛散、京阪電車も不通、旬日後に迫った入試を控えて受験生としても一時は不安の極に達した。幸い予定通りに入学に至ったが、われわれの歯科医専生活は出鼻からのショックにはじまった。

世は支那事変拡大中のこと、学校教練がとくに重要で厳正、熱心を実施され、学生は歯科医になる前に陛下の股肱(軍人)たれと配属将校も教練教師も張り切っておられた。皆一様に銃剣術などもたしなみ、病院にも木銃が備えられ、暇があれば直突!「ヤァー!」。従って大歯の教練査閲官の講評は常にすぐれていた「極めて優秀」などは今の世のヨイシヨ用語ではない。<後に軍隊に入りこれが如何に高い評価であるかを知った。>

16年12月8日、真珠湾の戦果のニュースに大東亜戦争突入は3年生のときであった。1年先輩の22回生諸兄から繰り上げ卒業の戦時学制措置がはじまり、17年1月から私達は天満橋の病院実習に入った。毎日診療実習開始前、早朝の「鍛練」は上半身裸の一群が天満橋、北浜界限から時にはナンパ方面まで、堺筋、松屋町筋、谷町筋の電車を若いエネルギーで駆け抜けた。気合いも入っていた。この鍛練の早朝駆け足は爾後の後輩方へも受け継がれ、戦時下の商都を縦横に裸の若者達が氣勢を上げたようだが、時には群から落伍した「ハダカ」が市電で帰投したなど愉快的失敗談も聞いている。

われわれ23回生も17年9月に繰り上げ措置の卒業。すでに在学中の徴兵検査は高槻の小学校が検査場で、該当者揃って受ける形となった。立ち会いのコワイ憲兵さんに気合いを入れられながらではあったが、クラスメイト一緒に学校の身体検査のようなムードもあり互いに心強かった。何人かと共に「甲種合格!」「歩兵!」と徴兵官殿の宣告に対し大声での復唱は、前途の運命如何はともかく一応胸を張れる心境であった。

卒業式後旬日を経ず10月1日にはそれぞれ陸・海の軍隊の門をくぐった。私は篠山中部68部隊に入隊した。「臨徴」と呼ばれるわれわれ初年兵は学生出身者ばかり、同じ中隊に達谷、大西、緒方、秦、永田ら同級生の顔はお互いに心強く、共に初年兵教育から汗を流したが、その後の運命は神の為せる業か、転属移動のまにまに北に、南に所属部隊の運が時の運、今は3人が残り、寄ると戦友の消息談を肴に酌む酒は尽

きない。

兵庫県の23回生諸兄、今は12名。昭和の御代を見とどけた御奉公はお互いにご苦労様。

折角永らえた昭和の残党として、平成を元気に生き抜こう。各自お大事に、機会があれば進んで厚顔を揃えよう。

(八竹 良清)

## 専24回 兵庫県にしき会

昭和64年1月7日、大行天皇の崩御の報が伝えられ、列島の津々浦々や地球上の隅々まで、哀悼の意を表するもの、戦争責任云々する声、様々の表情が覆いかぶさった。

特に私達専24期生は第2次世界大戦のさなかに在学し、勤労奉仕に、食糧増産や軍事訓練に汗を流し、昭和18年9月卒業式もそこそこに、大空に、大陸にその殆んどが召され、辛苦をなめ戦死した人も多く、感慨無量のものがあります。

私共にしき会は全国で100名ちょっと、兵庫県には16名おります。2～3名病気療養中の方がおられますが、他は元気で公務や地域医療に活躍しておられます。毎年1回行われる全国大会には夫婦同伴で出席する人も増えました。昨年度は9月17日～18日京都ホテルで卒業45周年記念大会を催しました。

これより先、兵庫県にしき会でも6月25日、塩見前副会長ほかが出席、神戸箕谷の Big Chef で集会を持ち、旧交を暖め、また情報の交換を行いました。

元号が昭和から平成に代り、動乱の昭和は終わりました。苦しい私達の業界が急に、「夢再び」とそういうわけにはいかないが、先輩後輩相携えて、医の心をとりもどす環境造りに励み、歯科医として悔いのないフィニッシュを完成したいものです。

平均寿命が延びたといっても、同窓会も段々淋しくなっていく年齢、お互いに健康に気をつけて頑張りましょう。そして1人でも多く、クラス会に出席して下さい。

(遠藤 哲雄)



おいらんとを囲んで卒業45周年  
記念の集い(にしき会)

## 専26回

県下26会の諸兄！ お元気で新年をお迎えのこととお慶び致します。年頭早々昭和から平成と年号が変わりました。振り返って見ると、われわれは大正末期に生をうけ物心ついた時は昭和であり、以後本年1月7日一パイまで昭和をフルに生きて来たのである。人それぞれの思いに違いはあるだろうが、昭和天皇が過ぎされた波乱万丈の時代を自分にオーバーラップして深い感慨を覚えるのは私一人ではないと思います。これから平成時代にわれわれも付き合うわけですが、気持ちは新たにでも昭和の延長をというように健やかに、そして穏やかに生きてゆこうではありませんか。昨年は七浦保次君を失いました。彼とは亡くなる一週間前に電話で「年に1回といわず何回でも会って勝手な話をしてみたい。そんな場を作ってくれ」という話をしたことを思い出します。和歌山県白浜温泉での26会総会を昨年10月末に催しましたが、参加者20名足らず例年になく淋しいものでしたが、やはり会えばすぐ学生時代に戻って時の流れを忘れます。平成元年には是非県内諸兄とクラス会を催したいと考えています。ご案内致しましたら是非出席して好き勝手な話に花を咲かせて下さるよう、今からお願いしておきます。前回のレポートで堀重徳君、奥田順也君の名を漏らすという失礼を致しました。深くお詫びして訂正をお許し頂きたい。

(田村 正)

## 専27回

私達専27回卒業者は、戦中戦後の食糧難に耐えて困難な時期に学業も十分に出来ないままの青春時代を過ごし、平成元年を迎えて現在の平和なる時と比べて感無量です。

昨年は同期の稗田教授が学長に就任されました、覚道教授と共に後輩の指導に当たられています。同期生一同も嬉しく誇りに思っています。

牧陵会（クラス会）は昨秋和歌山の当番で高野山持明院で盛大に行われ、仏前に多くの亡き友の供養と共に各人が家内安全、商売繁昌？を祈念して来ましたが、平成元年の意義ある今秋は兵庫県が当番年に当たり、神戸人会の同期の友とこのクラス会の企画をいろいろと考えている次第です。

卒業40年が過ぎれば、毎年一人二人と減って行く友をしのびつつ、その淋しさをあじわいながら、全国より集まってくる学友と再会し語り合う日を楽しみにしていますが、みな喜んでくれる有意義な会にしたいと願っています、その責任の重大さを感じているこの頃です。

また、同窓の先生で、今迄クラス会などを催され皆に喜んで戴いた良い企画があればお教え下さい。

(西原 五郎)

## 専28回

昨年11月に大阪のプラザホテルで卒業40周年記念のクラス会が開催され、岩崎行男、佐川肇、田中正忠の三君の藍綬褒章の受章の祝賀も併せ行われました。多数の同級生が集まり、和やかで楽しい一時を過ごすことが出来ました。参加者の会話は、近況、健康状態、後継者のことなど、やはり年齢に応じたことが話題になっていました。10年後の50周年にも元気で再会することを約して散会しました。新年を迎え、昭和から平成の時代が変わった昨今、近い将来に是非兵庫県でも同級生の会合を持ちたいと思っております。その折はよろしくお願い致します。

(瀧井 源也)

## 専31回



みそひと会の諸兄、元気でご健闘のことと存じます。

昨年は兵庫県大歯会員家族大会に多数のご出席をいただき懐しい思いでした。

さて、元気な諸兄とは反対に、ここに悲報をお知らせ致します。

昨年12月3日早朝、東孝彦君が診察室で亡くなったと知らせを受けた時は、全くわが耳を疑いました。しかし、それは事実、心筋梗塞で亡くなったのでした。健康で逞しい東君を知っている諸兄も同じく信じられなかったと思います。

彼は歯科医として地域の人々に愛されながら、柔道家としても（自称柔道六段）活躍していました。警察関係の友人も多く、兵庫県警察歯科医会監事、西宮警察署警察歯科医を務め、その仕事振りは、他の追従を許さぬものがありました。

堂々たる体格に似合わず、彼は非常に心の優しい人でした。人から頼まれたら否とは言えず、自分の仕事を投げうって世話をするところがありました。随分多くの人々が助けられたことと思います。

実にユニークで、皆頼りにしていた彼でしたが、これが天命だったのでしょう。

ご冥福を祈ります。

来年度のクラス会は瀬戸大橋を渡り、四国の地で行われる予定です。十分健康に留意の上、お活躍を祈ります。

(生内 三実)

## 専32回

平成元年 新春 会員の諸兄姉は恙無く迎えられたことと存じます。暫くご無沙汰していましたが、今年が50代最後の方々も多いのではないのでしょうか。何時の間にか母校を 巣立ち37

年、戦後の大変な時から一生懸命働き、アット言う間の年月でした。気持ちは若やいでいても体が付いて来ない、ボヤクことが多くなったなど、長寿社会への入口に立ち感無量です。

幸い昨年は、会員の動静に特記すべきことはありませんが、63年県歯各会の人事改選に伴い、会員の内17名の方々が県八会の役員として、また、地方会々長として活躍されています。特に中塚君は、県歯専務で村井会長の女房役として諸事に多忙の日々を送っており、午後1時頃より4時頃迄県歯会館にて執務しています。

また、今年一度淡路で兵歯32回の同窓会と言う意見が出ております。淡路もいいホテルや旅館が増え、観光にゴルフに楽しめる所もあり、5・6月頃を目指して淡路の成島君にもお願いして、その実現を藤本会長はじめ役員の方々に考えていますので、決定しましたら是非とも多数参加されることをお願い致します。

最後に、駄足ですが小生が関与しています会立歯科学院専門学校では、昨今、技工士科の応募者が少なくなりつつありますので、この紙面をお借りし、会員の先生方に生徒のご推薦を、よろしく願いいたします。

では、専門32回の近況ご報告まで。

(小野 晃)

## 大2回

昭和29年卒の大2回生は平成元年で卒後35周年を迎えることとなりました。私ども兵庫県下同期生は現在13名で年一回程2名の指名幹事の世話で県下の名所で楽しい会食をしながら情報交換や旧交を暖めております。

本年の大2回クラス会総会は兵庫県が担当で神戸にて開催することになっています。全員の協力で前回の30周年クラス会にも勝る盛會に、もって行きたいと思っております。

ぼちぼち還暦を迎える年頃になって来ましたが、改元とともに私どもも心機一転気持ちを引きしめて一層健康に留意し頑張るって行こうではありませんか。

(佐々木重夫)

## 大5回 大五回全国総会が新神戸オリエンタルホテルで開催決定!!

激動の「昭和」が幕を閉じ、新しい「平成」がスタートしましたが、大五会の諸先生には益々、ご清栄のこと、お慶び申し上げます。

さて、平成元年の大五回全国総会が、兵庫県主催で開催されることになり、それに先立って昨年11月に大五回兵庫県支部の打ち合わせ並びに忘年会が花隈「鈴江」で行われ全国総会の開催場所及び日時が決定いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

現在、一瀬先生のお世話により、着々と準備が進行しておりますが、新しい時代を飾る総会にするために、準備委員会を結成し、順次協議したく考えておりますので、今後、会員皆様におかれましても、兵庫県支部共々、ご協力、ご支援の程をよろしくお願いいたします。

<追伸>

昨年12月3日、兵庫県支部二世会を北野坂「敷炉屋」で行い、母校の発展と会員相互の親睦に努めることを密にしました。

大歯大第五回全国神戸総会の日程概要

(場所) 新神戸オリエンタルホテル

(新幹線新神戸駅前)

(日時) 平成元年10月28日(土)、29日(日)

(受付4時 予定)

(長谷川 啓)

## 大6回 六歯会

昭和63年度総会は昨年11月26日(土)午後4時より大阪ロイヤルホテルにおいて卒業30周年記念大会とし、また同窓生東義景君が母校口腔解剖学講座教授に就任したお祝いの会を併せて行った。

当日同窓会本部より奥野喜一会長、大学より稗田豊治新学長を始め中村俊一、小森富夫、筒井正弘、織田正豊各名誉教授、山岡昭病院長、高須淳副病院長、西浦恂、木下善之介、藤井弁次、中村正明各教授、宮森康雄進学課程主事などの多数の来賓を迎え会員家族100余名が出席し、かつてない盛大さを極めた。クラス代表に



谷口信昭君（京都）同窓会評議員に大野一郎君（大阪）が選出された。兵六会（会員21名）本年度総会を5月に予定しています。全員のご参加をお願いします。

（一瀬 健二）

## 大7回 兵庫七夕会

本年でわれわれも卒業後30周年を迎え、5月には大阪において記念七夕会が開催される予定になっている。このように熟年の年齢に達していると、歯科医師会の中でもそれぞれ重要なポストに就くようになる。

昭和63年4月よりわれわれ兵庫七夕会々員からも、兵庫県歯科医師会常務理事に村瀬進君、長田区歯科医師会々長に西海啓之君、小野市・加東郡歯科医師会々長に福岡優君、南但歯科医師会々長に上田晴敏君が就任した。誠に喜ばしいことであるが同時に大変なご苦勞の多い仕事にくれぐれも健康に留意されんことを祈念するものである。

昭和63年6月25日に4君の就任祝賀会を、われわれ兵庫七夕会々員16名が元町南京街の果和飯店に集まり催した。記念品を贈呈し村瀬君のあいさつの後はなごやかに卓を囲んで宴が長時間続いた。やはり同窓生の集いは楽しいもので、時間の経つのも忘れてしまう程であった。

10月15日新オリエンタルホテルにおいて、大歯大兵庫県同窓会会員大会が催され兵庫七夕会々員も多数参加され久しぶりの顔合わせに話はずんだ。その折に年末に上田君のお世話で一泊旅行を計画されたのであるが、残念ながら参加数が揃わず中止された。次回を楽しみに実現されるようにお願いします。

昭和の時代が終わり、新しく平成の時代となったが、われわれ歯科界をとり巻く環境は依然として厳しいものとなっていくであろう。新しい時代になったことを転期としてより一層研鑽をつみ、地域に貢献せねばならない。そのためには同窓の益々の団結と親睦をはかっていくことが大切なことだと痛感する次第である。

（下井田久仁夫）

## 大11回

士会25周年記念大会及び同級生物故者合同追悼会は去る昭和63年11月12日5年振りに、京都士会のお世話で開催されました。

南禅寺境内、清涼殿において同級生物故者14名の追善供養が厳かに挙行されました。余にも若くして物故者となってしまった同級生、彼等の分まで残されたわれわれ士会同窓生は、健康に留意し、歯科医師としての責任と役割りを世に示さねばと痛感しました。

都ホテルにおいて、総会、懇親が開かれ次期開催地は兵庫県と決定、開催時期は2年半後の予定になっています。また、兵庫県士会の結成を望む声もありますので、この機会に検討してみてはどうかと思います。近々に案内状を送付しますのでご意見、ご協力をお願い申し上げます。

（大野 正迪）

## 大12回 十二支会

去る、昭和63年12月18日（日）午後1時よりポートピアホテルにおいて、十二支会兵庫県支部総会が開催された。今回は 諸般の事情により、極く内輪の会合になった。

十二支会も本年をもって、卒業25周年を迎える。昭和39年、東京オリンピックの年に卒業、早や4半世紀の星霜を重ねた。同級生も50歳台に突入し、好むと好まざるに拘わらず、各分野での相当の位置づけと、責任の重さを感じながら、それぞれの人生の仕上げの段階に入って来たようである。われわれの子弟が母校に50余名在学し、その二世会も昨年発足したと仄聞する。全くご同慶の至りである。その反面、志半ばで去って逝く同窓もポツリポツリと出て来た現実もある。

折しも、本年7月8日（土）、大阪ロイヤルホテルで、卒業25周年記念祝賀会が開催される。

25周年を期して母校のために、歯科界のために何が出来るかを模索し、同窓と言う不思議な縁（えにし）を大切にしたいと考える今日この頃である。

（大頭 孝三）

## 大13回 兵庫登美栄会

最近、登美栄会の会員がいささか自慢できる祝賀会がありました。それは京都大学医学部口腔外科教授に、同窓会の飯塚忠彦君が就任したことであります。もちろん、彼の日頃の努力と精進の賜であって、何らわれわれ同級生が関与したわけではないのですが、それでもやはり嬉しいし、自慢したくなるのは私一人ではないと思います。大歯全国会員大会のあった京都でその前日に祝賀会がもたれたこともあります。約110余名のクラスメートが集まったのは、その団結の強さを物語っていると思います。

ところで、兵庫登美栄会の方は4月に同窓の大歯大歯科理工学教室の中村正明教授をお招きして学術講演会を行い、7月にはゴルフと観光をかねて三朝温泉に一泊旅行しました。10月には大歯兵庫県会員大会当日に登美栄会の総会を開き大勢の会員が参加いたしました。この夏は待望の全国登美栄会総会が札幌市で開催されます。卒業24年目のわが登美栄会員もここで少しのんびりして、休暇をとってはいかがでしょうか。3泊4日ぐらいの夏の北海道の旅はいかがなものでしょうか。レンタカーで走るもよし、ゴルフを楽しむもよし、人里離れた温泉につかって日頃の疲れをいやすもまたよろしいんじゃないでしょうか。心は北海道にはせ、そのプランニングに楽しい昨今であります。

(山口 省三)

## 大14回

卒後23年となる私たち14回生は、寿歯会という名称とともに、世相の移り変わりにつれて変化する業界の立場に随時対応しながら、一方で家族重視の生活をも十分に支持していかなくてはならない、公私ともにまさに実年まただ中であります。私たちの支部活動については本誌、前号にて本庄君より詳細にご報告させていただきましたので、ここではごく最近の状況を中心に概略的にご報告させていただきます。

本格的な活動としては昭和52年ごろからはほぼ毎年総会を開き、兵庫寿歯会（寿歯会兵庫支

部）の運営方法の検討、また、学術、技術、理論のさらなる研修をのぞみ、学際領域の先生に講演をお願いしたり、役職関連の先生ともに多方面にわたる情報交換につとめたりしながら現在に至っています。もちろん、このような会のあとにはつきものの懇親会で180度頭を切り替え、食べ、飲み、語らい、和気あいあいと、そして思いきりハメをはずすのも次の活動への重要なチャージとなっているのです。

さて、ごく最近では、昨年10月15日、多数の参加者とともに盛会であった大阪歯科大学兵庫県同窓会出席後、便乗開催ということで昭和63年度総会を開かせていただきました。

ついで、11月13日には、京都で開催された同窓会全国大会にも多数で出席させていただき、先輩、後輩諸兄と交流を深めるなど、全国ネットの重要な一基盤になるべくところがけ切磋琢磨しております。よろしく願いいたします。

(石崎 順啓)

## 大18回 とわ会兵庫県支部発足のご案内

われわれ第18回卒業生は現在数237名中41名の同窓が兵庫県内にあります。去る昭和60年のとわ会15周年記念大会の折には全国から100余名の会員を神戸に集め盛大に開催し大成功を収めました。その時、とわ会兵庫県支部の発足について話ができましたが、はつきりしないまま現在に至っております。昨年度から大阪歯科大学兵庫県同窓会より各クラス会宛に事務通信費として15,000円支給されており、また、同窓会により一層の充実を図るため会報を年二回発行しております。これを機会にわれわれも、とわ会兵庫県支部を発足し会員相互の融和と親睦を旨として、4月頃に大歯大兵庫県同窓会会長の村井俊郎先生をお迎えし発会式を行いたいと計画しております。会員諸兄の参加並びにご協力をお願い致します。なお本年度のとわ会の総会は7月1日（広島県）で中原君、池田君、豊岡君、家頭君らが地区幹事として開催されますので多数の参加をお願い致します。

(和平 甚京)

## 大24回

去る10月22日（土）に、ポートピアホテルにおきまして2年ぶりの同窓会を催し、多忙の中13名の出席ではありますが楽しいひとときを過ごしました。ゴルフ組は、伊藤和彦君の紹介で三木G・Cにおいて行い、天羽君（西宮）が優勝しました。今回の同窓会は行事の多い10月でもありましたので、1989年の同窓会には多数のご出席をお願いします。

（馬場 悟）

## 大27回

われわれ大学27回卒業生で構成する兵庫飛翔会は、昨年6月11日に神戸神仙閣において、同窓会を開き、前回と同様会員の約半数の出席を得ました。簡単な会務報告の後宴会に移り酒、料理、会話を楽しみながら会員の親睦を深めました。同級生との会話を通して、われわれも30代半ばを迎え、歯科医師としてまた社会人として日々奮闘努力しながら、人間的にも少しずつ成長して来たことを感じました。また、各支部や県において活躍している人もあり、その仕事振りを聞き、同級生として良い刺激を受けると共に心強い限りです。同窓会は会員相互の親睦を深めるのはもちろんですが、会員同志歯科医師としてまた、人間として刺激を受け合い自分自身を回顧し、リフレッシュする良い機会であらうと思います。その意味からもこれからの同窓会活動を大切に息の長いものにしたいと思っています。新しい時代平成元年を迎え、兵庫飛翔会の皆様の健康と活躍を祈ります。

（井口 利彦）

## 大28回 兵庫県庚申会

兵庫県庚申会の諸兄、お元気ですか。今年の庚申会総会は、兵庫県が担当することになっております。この総会準備のために何回か集まってもらうこととなりますが、万障繰り合わせて集まって下さいますようお願いいたします。昨年は「菊水」にて京・滋主催で盛大に開催しましたが、兵庫も、地道に早目、早目に実行してゆきたいと思います。

自分が今日、ここに存在していただけるのは、確かに自分自身の努力によるものでありますが、それとともに、いかに多くの人々のお世話になってきたかということ、父、母、兄、弟、姉、妹、先生、友人、上司、先輩様々な人の教えや助けによって自分がいま生かされているのもあるわけです。こう考えてきますと、とりわけ「友人」こそは格別であります。だからこそ卒業して大人になった証明として、責任ある立場に立てば、自分のことばかりではなく他人のためにも力を尽くすこと、友人のためにも力を尽くすことが、人間の証明だ……という話が大きくなってきたか……？こう考えても人は勝手に、気ままわがままなものだそうです。

しかし、真の同窓会を目指し、自らの成長と自らの向上を計りつつ、同時に友の成長の力にもなっていくための同窓会を「兵庫県庚申会」の目標にしたらどうでしょうか。そういう方向で考えることによって人間として光ってくるし、そういうことが、今ある世の中の自分をみつめることになるのではなからうか。「平成」の時代に「庚申会」の未来をみんなで語り、みんなで祈りたい気持ちであります。

（永谷 敏）



## 大29回

前回寄稿いたしました通り、われわれ大学29期生は、三月にポートピアホテルにおいて、同窓会を行いました。それ以降の活動としては何もご報告申し上げることはございません。

同窓会につきましては、毎年地区を変えまして開くことになっており、今回は和歌山にて開かれる予定となっております。

また、前号の兵庫県同窓会報を読みましてところ諸先輩方の兵庫県支部の活動が活発であることに驚ろかされました。われわれ仁玖会といたしましては、今のところ年一度の地区を変えての同窓会ぐらいのもので。とりわけ兵庫県支部としての活動は、連絡網を使っての電話交流で、お互いの情報交換をしている程度という状態であります。もうそろそろ、兵庫県支部の同窓会活動も、考えていかなければいけないと思っております。

(赤井 高之)

## 大32回 甲子会

昭和から平成と移り変わった1989年。

今年でわれわれ、大32回(甲子会)も卒後五年目を向かえ、各々の先生方も、開業、結婚等々、忙しい日々を送られていることと思います。

現在のところ、大32回(甲子会)兵庫県支部としては何の活動も行っておりませんが、大32回(甲子会)としては、年一回の総会ならびにゴルフコンペを行い、今年も秋に総会を開く予定にしていますので、多数の出席をお願い申し上げます。また、くわしいことが決まりましたら連絡網などでお知らせしますので、宜しく願います。

(上垣 智)

## 大33回

大阪歯科大学兵庫県同窓会(33期)燦美会は、昨年11月19日の学年総会に幹事を務め、村井俊郎兵庫県同窓会長をはじめ、志築照和兵庫県同窓会専務理事、高須淳口腔診断学教授をお迎えし、錦上花を添えていただき盛況裡に大役を果せました。特に兵庫県支部同窓生は他府県に勝るとも劣らない団結力と実行力をもつ先生方ばかりであり、総会・懇親会の企画、準備、進行等において各分担を積極的に遂行し、全員参加型の会の運営が出来たことを代表幹事として、同窓生一同と共に喜んでおります。

本来ならば大歯同窓会全国大会の前日に開く予定でしたが、多数の大学院生の学位発表に関する日と重なったため、やむなく日程を変更致しましたが、次期大会時には予定通り開催出来ると考えております。

今年で4回目になる恒例の兵庫県燦美会親睦旅行は2月4日、5日に第2回ゴルフコンペと赤穂めぐりを行ないます。参加者は19名ですが、わずかばかり増加の傾向で今後一層親睦と団結を深めていこうと考えております。

平成と元号が変わり、語源でたとえるならば、われわれ若輩同窓としては、外には襟を正して平静に、内には団結・和をモットーに一層の親睦をはかる同窓活動を続けて行こうと考えております。

今後ともよろしくご指導下さいますようお願い致しまして近況報告と致します。

(中原 範人)



## 総会 予 告

下記日程において総会を開催いたします。

日 時 平成元年 4 月 8 日 (土) 午後 4 時

場 所 兵庫県歯科医師会館 5 階ホール

総会終了後「神仙閣」において懇親会を開催いたします。

平成元年 3 月 10 日発行

### 大阪歯科大学兵庫県同窓会報45号

発 行 所 神戸市中央区山本通 5 丁目 7-18

電話神戸 (078) 351-4181

編集発行人 志 築 照 和